



青春の「コマ」を登呂のさざぎへた人々の物語。

# 登呂をよめ 安倍をよめ

企画展



- 1: 再調査で見つかった発掘隊の移植ごて (登呂博物館蔵)
- 2: 住居発掘状況 (登呂博物館蔵)
- 3: 発掘調査開始の日 (登呂博物館蔵)
- 4: 住居測量状況 (登呂博物館蔵)

2019年 1月12日(土) 3月3日(日)

静岡市立登呂博物館 2階 特別・企画展示室

開館時間 | 9:00 - 16:30

休館日 | 月曜日・祝日の翌日 (1/14, 2/11 は開館)

観覧料 | 一般 300円 高大生 200円 小中学生 50円

参加体験ミュージアム!

静岡市立登呂博物館  
Shizuoka City Toro Museum



古代史研究学会の徽章(登呂博物館蔵)



調査に参加した大学生の寄せ書き(登呂博物館蔵)

とらをとめ 安倍をとこらが歌垣の  
うた聲にまじる 遠の汐さゝる

佐佐木信綱「登呂幻想」『山と水と』一九五二



発掘に参加した当時(昭和22年頃)の不二高等女学校の制服(現在の静岡雙葉高等学校)(個人蔵)



郷土研究雑誌(登呂博物館蔵)

## 『歴史を「自らの手で」発掘する。』

### 関連イベント

戦後の登呂遺跡の調査の合言葉は、まさにこの言葉に代表されるものでした。自分の手で歴史を確認するのだと。大学の先生も、発掘に参加した学徒たちも、歴史究明の情熱に燃えて登呂遺跡の調査に参加していました。歌人・佐佐木信綱は登呂遺跡に見学を訪れた際、眼下の広がるその光景に感銘を受け、登呂に関する数多くの歌を遺しています。しかし、学術的に記された発掘調査の記録だけでは、当時の情景まで推し量ることはできません。

そこで今回の展示では、登呂遺跡に関わった「人々」にフォーカスします。当時の発掘現場の生の雰囲気伝えるものや、人々の証言などの現場からの「生の声」、そして、そのバトンを受け継いで登呂を語り継ぐ人々を紹介します。

#### 講演会「登呂をとめ 安倍をとこ」

日時: 2月9日(土) 13:00 - 16:15  
会場: 静岡市立登呂博物館 1階 登呂交流ホール  
料金: 200円  
定員: 60名(要予約・先着順)  
1/4(金) 9:00より登呂博物館にて受付開始  
(Tel.054-285-0476 / Fax.054-287-1466)  
講師: 下津谷達男 | 元國學院大学栃木短期大学教授  
「昭和の発掘調査に関わった人々」  
中野 宥 | 元登呂博物館学芸員  
「静岡考古館から登呂博物館へ  
～登呂を支えた人々～」

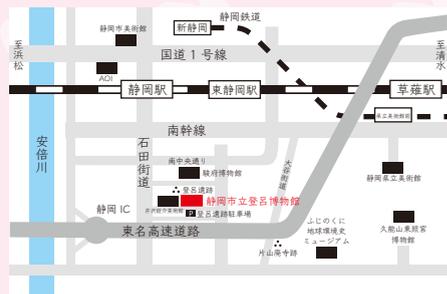
#### 登呂人を知ってみよう!

常葉大学生が制作した、「登呂」をテーマにした紙芝居やすごろくを行います。登呂遺跡博士になろう!  
日時: 登呂紙芝居 1月13日(日) 13:30 - 15:00  
登呂すごろく 2月24日(日) 13:30 - 15:00  
会場: 静岡市立登呂博物館 1階 登呂交流ホール  
料金: 無料  
定員: 20名程度(予約不要・直接会場へ)  
協力: 常葉大学教育学部生

#### 展示解説

当展示の魅力や見どころを解説します。  
日時: 1/12(土)、2/2(土)、2/17(日)、3/3(日)  
11:00 - 11:30 / 14:00 - 14:30  
会場: 静岡市立登呂博物館  
2階 特別・企画展示室  
料金: 無料(要観覧券)

### アクセス



#### 車

東名高速静岡ICから約10分 駐車場(有料)有

#### バス

JR静岡駅南口から約10分  
しずてつジャストライン「登呂遺跡」行きバス終点下車

参加体験ミュージアム!

静岡市立登呂博物館  
Shizuoka City Toro Museum



〒422-8033 静岡県静岡市駿河区登呂5-10-5  
Tel.054-285-0476 Fax.054-287-1466  
<http://www.shizuoka-toromuseum.jp/>